

# 「命のトランジットビザ」

上峰中 3 年 組道徳だより 4 号  
(2019. 6.19) 文責

○自分の立場が危なくなるかもしれないのに、ユダヤの人々を助けようとしていてすごいと思った。

○杉原さんは自分がどうなろうとも多くの命を優先していて、とってもすごい人だと思いました。なので、こういう人になれるように僕も頑張りたいです。

○ドイツとの同盟をされていて、ユダヤ人を助けることはあまり良くないけど、それでも人を助ける千畝さんはすごいと思った。これからは助けられるものは助けていこうと思った。

○今日の授業で感じたことは、自分で考えて行動することが大切なことだとわかりました。杉原さんは、日本を裏切ったけど、たくさんのユダヤ人を助けることができたので、すごい人だと改めて感じました。



○私は歴史の授業で杉原千畝さんを知った時、とてもすごいことをした人なんだなと思いました。道徳でさらに知って、本当に感激しました。自分たちの危険もかえりみず、困っている人々を助けるというその精神は受け継いでいきたいと思いました。私は杉原さんのようにはなれないかもしれないけど、決断力と行動力をもてる人間になりたいと思いました。世間に後ろ指をさされても、自分がやると決めたことはやり通したいと思いました。

○このビザを発行する、しないは一種のトロッコ問題みたいだなと思いました。たくさんのリス

クがあるにもかかわらず、人命を第一で動いた千畝さんはすごいと思う。

○きっとその場にいた杉原さんにしかわからない複雑な思いや葛藤がたくさんある中で、発行しようと思ったのは、自分の犠牲と変えてでもたくさんの命を助けようと思ったからだと思う。杉原さんにしかできないから考えたと思う。目の前の何千以上の命と犠牲。選択するのはとても難しい。

○杉原さんが自分が今まで付いていた職を失ったとしてもビザを出す決心をしたことに私はすごいと思いました。それにビザを出すにしても約6000人のユダヤ人のビザを寝ることも食べることもしないで書き続けることが何よりもすごいと思いました。

○自分にいくら危険でも相手を守りたい、救いを求めている人を助けに行くということがどんなに大きいか、でも助けになるありがたさだなとわかりました。

○今日の授業を日常に生かすなら、友達の悩みを真剣に聞いてあげるとかだと思います。今まで適当な答えで流してしまっていた自分がいたので、今日の授業を生かして真剣に聞いてあげたい。

○命がどれだけ大切かというのを考えました。たくさんの命を救うために日本を裏切りことになる、あと家族も危ない。そんな中でもビザを発給しようと決断できるのはすごいと思いました。

○杉原さんはユダヤ人の人たちを外国人ではなく、自分と同じ人間だと思ってビザを書き続けたのだと思いました。人と人との相互理解はまだ難しいかもしれないけど、こうやってきっかけをつくっている人がたくさんいるのはすごいことだと思いました。

○杉原千畝さんは日本人なのに、ドイツと同盟を

組んでいたのに、ユダヤ人を救う行いはすごいなと思います。僕も人を差別しない大人になろうと思いました。

○僕は今日の授業で、千畝さんは自分を犠牲に他人を助けることができるなんてすごいなと思いました。僕だったらそんなことできないと思います。でも僕もそんな千畝さんのような思いやりをもった人間でありたいなと思いました。

○杉原千畝さんはたくさんのユダヤ人にビザを発行して、たくさんの命を救っていてすごいと思った。何百もの人の命を日本を裏切ってでも助けようとしていてすごかった。僕もこの授業を受けて、学校生活や日々の生活で人などを助けられる時は頑張っ

て助けられるようにしたいと思いました。

○多くの人の命を助けるために、自分や家族が危険になってしまうけど、ビザを発給した杉原さんはすごい人だと思いました。日本を裏切ってまで博愛の精神を取ったのはとてもまねできないと思いました。

○杉原さんは日本人でドイツの味方をするのかなと思ったけど、目の前のたくさんのユダヤ人を自分の仕事がなくなってでも助けたのだすごい人だと思います。僕もできるだけ多くの人の命を救えるような人間になりたいです。

○杉原さんは日本人だったけどユダヤ人の人々を救ったことはすごく決めるまでに時間もかかったのかなと思いました。また、ユダヤ人を救ったことは日本からは何か言われてしまうかもしれないけど、すごいことだと思います。

○杉原さんの行動のように、自分と他の人のどちらを優先するかを問われたら、ユダヤ人を優先することは大きな決断だし、しかも国を背負っている立場だったら、自分の思い通りにもいかないので、杉原さんの決断力はすごいなと思いました。

○自分の安全より多く命を選んだ人がいることがわかった。自分の気持ちに正直に動いたと思いました。選ぶことの責任の重さなどが感じられました。

○杉原千畝さんみたいに違う国の人でも自分が犠牲になってもたくさんの人の命を救えたことに違いはないから正しい判断だと思う。自分ができる限りの事を一生懸命やることに意味があると思った。

○杉原千畝さんが大量のビザを発給したことでたくさんのユダヤ人が助かった。自分や家族の命が危ない中でも、ユダヤ人を見殺しにしなかった杉原千畝はすごいと思った。自分が杉原千畝だったら

○もしもビザを発給しなかったらたくさんのユダヤ人が死んでしまう。そんな状況になったら私はどうするかとても悩む。でも命より大切なものはないから、ビザを書いたほうがいいのかとても難しい選択だと思った。

○今日の授業で大事なものは「国籍が違うから助けない」ではなく、「人間は人間。同じ人間だから助ける」ということがわかりました。自分が危険な状態でも、ユダヤ人を助けた杉原さんは本当にすごい人だと思いました。

○私だったらビザを発給することはできなかったと思う。自分のことより、違う国の人であるユダヤ人を助けて、とてもかっこいいし、素晴らしい人なんだと思った。

○日本人でありながら、ユダヤ人を助けることは日本にとってダメなことだけど、自分の安全を捨ててまでビザを書くだなんてすごいなと思いました。

